

してはならぬ。家庭教育の補助機關たることを念頭に置かねばならぬ。此考へでフレーベルの教育主義の天然の法則に従つて發育せしめ教導せねばならぬ。ハールマン氏の言ふ様に未來の生長を害ふ様な雜草たるものは刈除せねばならぬ。幼稚園は能く遊ばせ彼等の既有的思想を整頓すると共に、自然物に接觸するの機會を多くして能く直覺させ幼兒の心身を圓滿に發達させ善良な習慣を着け、且小社會に接觸して共同生活になれしめねばならぬのであるまいか。世人の言ふ今の幼稚園は種々なる事を教へ早熟に失して遂に苗を助けて長せしむることがある。餘り早くから組織的に具案的に種々なることを教へて幼稚園の成績を擧げやうと思ふのは誤解の甚しものである。要するに幼兒が字を書くとして之れを獎勵し全く禁止したりするのは教育的でない様に思ふ放任主義を採るのが策の上なるものでないかと思ふ。

## ○自由保育

精華學校幼稚園部 鈴木マサ

此頃のことで御座います。全幼兒に折紙組紙などを與へて一齊に手技をさせて遊ばすといふことは、それは或幼兒にとつて眞に効果が無いのみならず、却て苦痛であつたことを實際に見とめたのでございます。其子供が家に歸つたとき前掛のポケットから組紙で作つたものが出て居りまして、家の人がこれは大そうきれいだね、お前が一人で作つたのかと尋ねましたら、一人で作つたことは作つただけけれども實は、お友達が皆さんこしらへていらつしやるし、又先生も一緒になさいとおつしやつたからいやで／＼たまらなかつたけれどしたのですと思つたまゝを答へました。このを實際に聞かされた私は随分うかつたのでございませう。幼兒に對して氣の毒な感じがいたしましたので御座います。遠慮なしに皆の子供の心を語らせ

たら、他にもこの子供と同じやうに思つて居つた  
子もあつたらうと考へたとき、赤面せずに居られな  
かつたので御座います。誠にこの一言は幼児から  
新しい保育法（隨意でしかも自由にすることの効  
果あること）を教授されたやうな感じがいたしま  
した。それで一齊に同一のことを同時に強てさせ  
て遊ばすことの餘り有益でないのみならず、不自  
然ではないかと感じたのでございます。それから  
は務めて幼児の自由に任せて手技の材料が有益に  
用ひらるゝことを計る積でございます。今日も折  
紙を全幼児に興へまして自由にいたさせましたら  
其時こしらへたくない子は勝手にポケットの中  
に入れてしまひましたが、午後になつて其折紙を  
出して隨意に玩んで居るものもあれば、保育に何  
々を作つてくれと要求するものもあれば又は友達  
と一緒にやつて折つて居つた子供を見ました。か  
くて始めて折紙を興へた効果を知つたのでござい  
ます。

其ほか昨日も庭園で隨意に遊ばせて居るとき眞五  
名の女児と二三名の男児とがしきりに地面に石で  
書き方をいたして居りましたから、黙つてしばら  
く様子を見て居りますと、男女ともなか／＼面白  
さうにいゝ／＼なものを書いて居りましたから、  
紙と鉛筆をあげませうかと尋ねましたら喜んで下  
さいと申しました。すぐ臺などふいて用意をしてや  
りまして、尙他にも書きたいものは手を洗つてい  
らつしやいと申しましたら書きたい子供はさつ／＼  
と砂場の道具など片付けて手を洗ひ紙と鉛筆をも  
らひ隨意に餘念なく書いて居りました。終りまで  
書かなかつた子供も随分居りました。（十四五名）  
其子供たちを見て居りますと又各々異つた遊をし  
てなか／＼面白さうに見えました。これが眞に子  
供にとつては満足であつたこと、感じたのでござ  
います。この後もこの方法で保育して見たいと思  
つてをります。これは隨意遊嬉の子供にとつて大  
切であることを経験いたしたのでございます。先

きに申まをした四五名の女兒むすめの書かきに注意ちゆういいたしましたし  
たら地面ぢめんに畫かいたやうなものが書かかれてありまし  
たことを一層面白おもしろく感かんじたのでございます。され  
ど以上申まをしたやうにいたしますことの、其内そのうちに  
多少たせうの利害りがいの伴ともなうことゝ信しんじて居をりますから、な  
ほく研究けんきういたして見みたいと思おもつて居をります。

外へ外へ (六)

娛あそしき侶りよと、かたことに  
嬉うれ々とうたふは誰たれが子こぞ、  
母ははの謠うたりに捕とらはれし  
かよわき兒こ等らも放はなたれて  
今日は鋭えいき風ふうの  
やみて解とけき春はるの野のに  
心のまいにゆるされて  
汝いれの呼よ氣きな味あじへり。

(ワオルグオース)

保育資料

新遊戲法

飯沼 静

桃太郎

ト調  $\frac{2}{4}$

1 1 1 2	3 1	3 3 3 3	2 0
モモタロ	サノ	オトモニ	ハ
3 3 2 2	1 1 1	6 1 6	3 0
イヌサル	キジノ	サビキ	ヨ
3 3 3 3	3 3 2	3 3 6 6	3 0
オトモノ	ホービハ	ナニヤラ	ウ
3 3	3 2	1 1 3 2	1 0
日本	一ノ	キビダン	ゴ

「桃太郎いさんのお供ともには」の歌うたの間手あひだてを腰こしにとり  
挑太郎いの遊あそ戯び法はう

吹きなす喇叭

1. 1 1 6	3. 3 3 3	1 3 1 0
フキナス	ラツバハ	チャット
とーりの	なくこ	けっこ
3- 6 3	3. 3 3 1	3 3 3 0
グタイ	スス	一ニ
きつね	はきだ	三
6. 6 3 3	3. 3 3 1	2 3 1 0
ウチダス	タイハ	ドンド
いーぬ	はえた	わんわん

足踏をなす「大狼雄子」の時は兩手を前方に出し  
一二三と指折かぞふ「三疋よ」にて兩手をおろす  
「お供の褒美は」の間腰なる袋より物を取り出す  
狀をなす「何やらう」にて勢よく兩手を取り出す  
し黍團子を與ふるに擬す「日本一の」にて右手を  
あげ指にて輪をつくり團子の様になす「黍團子」  
にて團子を丸める狀をなす、

吹きなす喇叭の遊戯法  
第一、「吹きなす喇叭はチャットヲ」を唱ふの間兩  
手を握りたるまゝ口邊にあてがひ喇叭を吹く狀  
をなす「軍隊進めよ」にて右手にて斜に上を指  
し「一二三」にて足踏をなす「打出す大砲」に  
て兩手を握り左手のみ前方に出し其方向に注視  
せしめ「ドンドンドン」にて引き金を引き彈丸  
を放つ狀をなさしむ、  
第二、「鶏の鳴く聲ケツココ」を唱ふる間兩手を  
半ひろげて翼を動かす狀をなさしむ「狐は鳴き  
出す」にて兩手に各狐の頭の形をつくり「コ  
ンコンコン」にて口を開閉する狀をなさしむ「犬  
は吠え立つ」にて兩掌を合せて犬の口に擬し「ワ  
ンワンワン」にて拍手す。